



## 「あなたは、大切な存在—子どもの話をよく聴いて—」

学期末保護者会が17日(火)から始まります。特に3年生にとっては、進路決定にかかわる大切な懇談です。この会に先立って、3年生1人ひとりの進路希望について、本人の適性や学習成績などをもとに会議を開いて協議しています。懇談会での進路指導では、その会議で協議した内容をもとにし、学級担任が生徒や保護者に説明していることをご理解ください。もしかすると、保護者会で学級担任から志望校の変更を勧められるかもしれません。現時点での学習成績だけでなく、その生徒が志望校に入学したあと、その学校の学習活動に余力を持って取り組めるかどうか、その学科・コースが本人の適性に合っているかなども考慮して、総合的に判断しています。どうかその点を踏まえ、学級担任との懇談に臨んでいただければ有難いです。

そして、懇談内容をもとに生徒本人の思いを十分に聴いたうえで、各ご家庭でしっかりと話し合い、進路先を決定してほしい、と願います。実は、私自身も息子の進路決定で苦い思いをした経験があります。子どものことを考えて進学先を話し合い、その高校に進学したいという本人の意思を確認したつもりでした。しかし、子どもにとっては、親が望んでいる回答を意識しながら進学先を決めていたことを数年後に知りました。今では進路選択は間違っていなかった、と本人も実感しているようですが、そのときは壁にぶち当たり、つい弱気になった息子の言動に接しました。いずれにせよ、本人の意見をもう少し聴き、合意形成を図る必要があった、と反省した次第です。

また、3年生にかかわらず保護者会では、学級担任から2学期の生活について様々な話を聞くこととなります。生徒の頑張りに対して、称賛されることもあれば、結果が伴わずに叱咤激励されたり、努力不足を指摘されたりすることもあります。この場合も、本人からよく話を聴いたうえで保護者の思いを伝えていただきたいです。

親子がコミュニケーションをとる際には、きちんと子どもの話を聴き、適切な方法で親の意見や気持ちを伝えることが不可欠であると言われます。以下に、子どもとのコミュニケーションのとり方について、研修で教えていただいた内容をご紹介します。参考にいただければ幸いです。

子どもの話をきちんと聴くということは、どのような点に留意すればよいのでしょうか？

人の話を聞けなかったり、相手の気持ちを思いやるのが苦手だったりする子どもは、自分自身が話を聴いてもらい、気持ちをくんでもらった、と感じないケースが少なからずあります。

子どもの話を聴くときに気をとめておかなければいけないことは何でしょうか？

子：「英語のテスト50点やったんよ」 母：「何やってんの！勉強しなさいって、あれだけ言ったのに！」

子：「勉強したよ！」 母：「やってたら、そんな点数とるわけないでしょ！」

子：「勉強したって言ってるのに！もうええわ！」

このようなやり取りに、身に覚えはありませんか？「勉強しなさい」という言葉には、母親の「きちんと勉強しておかないと、あなたの将来が心配だ」という気持ちが込められています。しかし、それがきちんと子どもに伝わっていない場合があります。

子どもの話を聴くときには、「くり返す」「言いかえる」「気持ちをくみ取る」という3つのポイントが大切だそうです。つまり、子どもが思ったことや感じたことを非難せず受けとめ、発した言葉から感情をくみ取り、聞き手が共感しているということを言葉にして伝えるのです。それでは、3つのポイントを押さえた聴き方とは。

子：「英語のテスト50点やったんよ」 母：「50点かあ、悲しい思いをしたね」

子：「うん・・・でもあんまり勉強せえへんかったからやと思うよ。次はがんばるわ！」

「英語のテスト50点だった」という言葉に、「50点で悲しい」という気持ちが隠れていることを大人がくみ取り、その気持ちをくり返して「あなたは悲しいと感じたんだね」ということを言葉で伝えています。子どもはそれを聞き、「話したらわかってもらえるんだ」という安心感を得、その上で次に自分がすべきことを自分自身で考え、答えを導き出そうとします。

「ココロとココロ(コミュニケーションを築いて、気づく)子ども編〈公益財団法人和歌山県人権啓発センター発行〉」

大人は日々、多忙な生活を送っていますが、少しの時間でもよいのです。長時間聞いてもらったから満足感を得られるとは限りません。たとえ5分でも、子どもが素直に気持ちを吐き出したとき、その日の出来事を話したとき、「聴いているよ」「いつも側にいるよ」という気持ちで子どもの言うことを受けとめ、共感してあげることが大切です。

そのようにすることで、子どもの心に大人への信頼感が生まれます。日常のちょっとした働きかけで、子どもは自分の気持ちについてじっくりと考え、自他を認め、それをうまく言葉にして相手に伝える方法を覚えていくのではないのでしょうか。

保護者会が終わりましたら、懇談内容をもとに上記のポイントを押さえて、話をされてはどうでしょうか。この機会が親子のコミュニケーション力をアップさせる契機になれば、と期待します。

結びにあたり保護者の皆様や地域の方々におかれましては、2学期の本校教育活動に、ご理解、ご支援を賜り、心よりお礼申し上げます。新年もどうぞ宜しくお願いいたします。